

Weekly M&A Review

2009/11/6 #30

株式会社ESリサーチ
(エスネットワークスグループ)



目次

M&Aに関する最新情報をお送りします。

今週のディールレビュー

■ チムニーのMBO	3
ディスクレイマー	6

チムニーのMBO（マネジメント・バイアウト）

「海鮮居酒屋 はなの舞」など外食事業を営むチムニー（3362 東2）は、カーライル・グループをスポンサーとするMBOを発表（11月6日）。

✚ MBO概要（TOB）

公開買付者	株式会社エフ・ディー（非上場） ※カーライル・グループ運営ファンドである、シー・ジェイ・ピー・ツー・ジェネラル・パートナー・エル・ピー（C J P I G P L P）の100%出資会社
対象	チムニー株式会社 普通株式および新株予約権
期間	11月9日～12月21日（30営業日）
価格およびプレミアム	普通株式：2,260円/株 •発表前日終値比：+44.59% •直近1ヵ月単純平均比：+48.61% •直近3ヵ月単純平均比：+42.32% •直近6ヵ月単純平均比：+37.34% 新株予約権：1円/個
数量	買付予定数：9,188,100株 ※発行済株式総数に、(株)エフ・ディーが既に保有しているチムニー株・普通株式に転換された新株予約権数を考慮した数 上限：— 下限：6,825,000株（発行済株式総数の75%） ※買付数量に限度を定めておらず、下限以上の応募があった場合には、応募株券等の全部の買付を行う。

出所：11月6日付 チムニー「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」

ショート・コメント

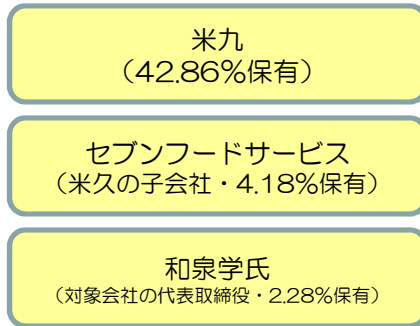
✓外食業界は個人消費の冷え込みにより、厳しい経営環境が続く。チムニーも既存店売上が悪化（昨対比▲6～7%減）、業績予想の下方修正など業績は悪化。このような背景の中、MBOを決定。

✓MBOに際しては、メガバンク及びDBJからの112億のシニアローンを調達予定。エクイティ・スポンサーとしてカーライルが参画。経営陣はTOB資金決済後、公開買付者（エフ・ディー）に出資予定。

✓チムニーの株価は、11月6日終値で1,590円（発表前日比+27円）。

チムニー MBOストラクチャー

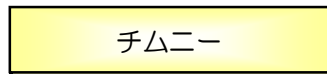
対象会社の株主



TOB応募契約締結済
み (計49.31%)



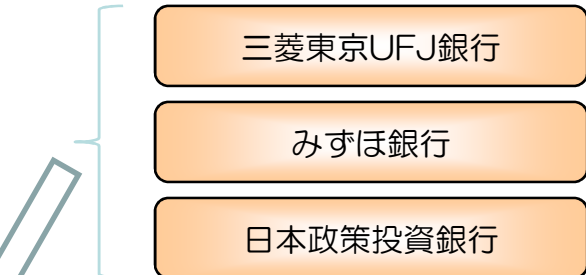
対象会社



公開買付者



TOB実施
買付代金：207億65百万円 (最大)



TOBローン (極度額112億16百万円)
・担保：エフ・ディー株およびエフ・ディー
が今後取得するチムニー株等 (予定)
・連帯保証：チムニー (予定)

出資予定 (3億/TOB完了後)



100%出資

・TOB成立後、全部取得条項付種類株式によ
り、100%親子会社化
・事業遂行上 (必要な許認可等の取得) の支
障が無い場合、合併等の組織再編を検討

チーム二 業績推移

決算期	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 (2Q)
売上高	21,026	28,077	34,423	38,698	19,141
売上原価	7,619	9,893	12,006	13,700	6,759
売上総利益	13,407	18,183	22,418	24,998	12,382
販売費及び一般管理費	11,695	15,954	19,457	21,632	10,802
営業利益	1,712	2,230	2,961	3,365	1,580
経常利益	1,746	2,310	3,014	3,402	1,601
当期純利益	857	1,184	1,556	1,810	888
キャッシュ・フロー					
営業CF	3,026	4,229	4,176	4,854	▲ 334
投資CF	▲ 1,294	▲ 2,078	▲ 3,498	▲ 2,922	▲ 1,517
財務CF	288	▲ 1,158	▲ 472	▲ 1,606	▲ 695
現金同等物期末残高	4,303	5,295	5,501	5,827	3,279
収益性指標					
売上高粗利益率(%)	63.7	64.7	65.1	64.5	64.7
売上高営業利益率(%)	8.1	7.9	8.6	8.6	8.3
SGA比率(%)	55.6	56.8	56.5	55.9	56.4
成長性指標					
売上高成長率(%)	35.9	33.5	22.6	12.4	
粗利益成長率(%)	42.0	35.6	23.2	11.5	
営業利益成長率(%)	74.1	30.2	32.7	13.6	
自己資本利益率(ROE)(%)	33.6	27.0	23.8	20.2	
1人当たり売上(百万円)	54.1	52.9	50.9	46.5	

- ✓2008年度は増収も、売上高・粗利ともに成長率が鈍化傾向。
- ✓また、2009年度2Qは、営業CFがマイナスに（2008年2Qは営業CFはプラス97百万円）。

ディスクレイマーおよびお問い合わせ先

- このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。
- 会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。
- 本レポートの利用すること、またはその情報に依存する上で、直接、間接、状況による場合、特殊または結果的に発生する損失、ダメージ、コスト、クレーム、要請などに対し、株式会社ESリサーチは一切の責任を負いません。
- 当レポート上で紹介されている第三者のウェブサイトに関しては、株式会社ESリサーチはその情報の内容についてコントロールする立場にありません。また、一切の責任を負いません。第三者のウェブサイトの利用を推奨するものではありません。
- 記載された意見や予測等は作成時点のものであり、株式会社ESリサーチはその正確性及び完全性を一切保証いたしません。
- 本レポート記載の事項は今後予告なく変更されることがあります。
- 当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社ESリサーチに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送は禁じられております。

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ESリサーチ 公認会計士 高桑 昌也
Tel:03-6826-6222/ m-takakuwa@esnet.co.jp
<http://www.esnet.co.jp/es/>